

感染症情報 12月18日～24日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1514例(堺市	60例)
②溶連菌感染症	504例(堺市	38例)
③RSウイルス感染症	292例(堺市	18例)
④みずぼうそう	109例(堺市	5例)
⑤手足口病	97例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 2922例(堺市 196例)

が報告された。

感染症報告数は前週比3.6%減の2,786件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、みずぼうそう、手足口病の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より3%増、堺市で前週より13%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より14%減、堺市で前週と同数であった。RSウイルス感染症は府下で前週比6%減、堺市で前週19例→今回18例であった。定点当たりで見ると、前週が1.6で、今回は1.5であった。みずぼうそうは府下で前週比29%減、堺市では前週7例→今回5例であった。手足口病は府下で前週と同数、堺市で前週6例→今回2例であった。

インフルエンザは府下で前週1592例→今回2922例で84%増、堺市では前週122例→今回196例(61%増)となった。定点当たりでは前週が5.2で、今回は9.5となった。

麻疹や風疹の報告はなかった。